

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	自主防災体制整備事業					担当部	消防本部			
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	消防総務課				
	事業期間	平成12年度以前		～	平成30年度以降		担当係	消防係			
	総合計画 分野別計画	主目的	1 安全・環境	3 消防・救急	3 自主防災会活動を活性化します						
		副目的	1-1								
	予算区分	款	9	項	1	目	5	大	3	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市地域防災計画									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	地区住民へ大地震時の火災等に対して、街頭消火器による初期消火活動を促進する。									
	内容 (手段)	<p>◆平成25年度実施内容 アパート、マンションなどを除いて約10世帯に1本の割合で街頭消火器を設置。自主防災会にその点検を委託している。各自主防災会では毎月1回点検を実施し、その結果を3月に市に報告。市では街頭消火器1本につき1,050円/年の委託料を各自主防災会に支払っている。また、市民からの連絡に対しては設置場所へ出向いて、破損・紛失した消火器や収納ボックス等を点検して、交換や修理補修を行う。破損、盗難等への交換対応や使用期限の8年～10年(平成24年度更新分から10年へ変更)経過した消火器の更新(購入・廃棄)を行った。</p> <p>◆平成25年度直接経費の内訳 需用費(消耗品費及び食料費等)(1,935千円):(内消火器更新111本) 街頭消火器保守管理委託料(4,527千円) 手数料及び備品購入費(2,991千円)</p> <p>◆平成26年度直接経費の内訳 ・内容については、平成25年度の街頭消火器保守管理委託料を廃止し、新たに小牧市自主防災会活動支援補助金を運用開始する。他は同様とする。 需用費(消耗品費及び食料費等)(9,035千円):(内消火器更新1,480本) 小牧市自主防災会活動支援補助金(6,872千円) 手数料及び備品購入費(5,318千円)</p> <p>※小牧市自主防災会活動支援金 補助の対象は、小学校区単位で地区防災訓練等を実施した自主防災会とし、訓練で必要となった経費や備蓄品、防災資機材等の購入をする資金として活用できることとした。この補助金の交付要綱における補助金額は、各自主防災会に均等割額20,000円及び各自主防災会の世帯数×80円の合計額(1,000円未満端数切捨て)を補助限度額とした。また、今後の街頭消火器の点検については回数は問わないが自主的に点検していただくこととした。</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	7,902	8,090	9,453	21,225	
		正職員	従事者数	人	0.95	0.95	0.95	0.95
			人件費	千円	4,997	4,997	4,997	4,997
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	12,899	13,087	14,450	26,222
	対前年比		%		101.4	110.4	181.4	
財源	一般財源	千円	12,899	13,087	14,450	26,222		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	街頭消火器の設置	本	目標	5	3	13
実績				5	3	13	
	街頭消火器の更新	本	目標	498	84	111	1,480
			実績	498	84	111	
			目標				
			実績				
成果指標名		単位		H23	H24	H25	H26
	街頭消火器の設置(累計)	本	目標	4,320	4,323	4,325	4,326
			実績	4,320	4,323	4,325	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成25年度の事業の達成状況	平成25年度は計画どおり街頭消火器の更新を実施した。街頭消火器の点検を自主防災会が行うことにより、防災意識の向上につながる。市内の各自主防災会に毎月1回の街頭消火器点検を委託することにより、初期消火活動時における保管場所の確認に役立つことができた。	
	事業実施における課題	自主防災会の力を強化していく方法や市民が防災の自助・共助の能力を向上させるための方法として、街頭消火器の点検で良いのか課題が残る。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	事業を廃止することで、地域の自主防災能力の低下に繋がる恐れがある。また市民の防災意識の低下につながる。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	23年度外部評価対象事業の今後の取り組み方針に評価結果が出ており、街頭消火器保守管理委託料は平成25年度で廃止とした。なお、平成26年度からは各自主防災会が自主的な防災活動を推進するため、防災資機材の整備、地区防災訓練等に対して必要な資金を補助することにより、市民の防災意識の高揚及び普及を図ることを目的とする小牧市自主防災会活動支援補助金交付要綱を策定し運用する。
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	26年度に新たに運用を開始した小牧市自主防災会活動支援補助金要綱を継続していく。	
	27年度以降の改善案	小牧市自主防災会活動支援補助金交付要綱は、小学校区単位で訓練を実施した自主防災会を対象とした。このため、平成28年4月1日から平成31年3月31日までの間に単独の自主防災会で訓練を実施した場合、補助限度額を段階的に引き下げることにしたため、今後は各自主防災会に小学校区単位での訓練を実施していくよう、進めていかなければならない。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。